

地方公会計財務書類(概要版)

天草広域連合 統一的な基準 令和 3年度

単位(千円)

貸借対照表									
資産の部					負債及び純資産の部				
勘定科目	一般会計等		連結会計		勘定科目	一般会計等		連結会計	
	金額	割合	金額	割合		金額	割合	金額	割合
1.固定資産	6,059,682	85.5%	6,760,572	86.6%	1.固定負債	-	-	645,186	8.3%
(1)有形固定資産	6,012,248	84.8%	6,012,248	77.0%	(1)地方債	-	-	-	-
事業用資産	5,396,345	76.1%	5,396,345	69.1%	(2)長期未払金	-	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	-	(3)退職手当引当金	-	-	645,186	8.3%
物品	615,903	8.7%	615,903	7.9%	(4)損失補償等引当金	-	-	-	-
(2)無形固定資産	28,125	0.4%	28,125	0.4%	(5)その他	-	-	-	-
(3)投資その他の資産	19,309	0.3%	720,198	9.2%	2.流動負債	101,607	1.4%	101,637	1.3%
投資及び出資金	-	-	-	-	(1)1年内償還予定地方債	-	-	-	-
投資損失引当金	-	-	-	-	(2)未払金	-	-	-	-
長期延滞債権	-	-	-	-	(3)未払費用	-	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	-	(4)前受金	-	-	-	-
基金	19,309	0.3%	720,198	9.2%	(5)前受収益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	(6)賞与等引当金	91,532	1.3%	91,562	1.2%
徴収不能引当金	-	-	-	-	(7)預り金	10,075	0.1%	10,075	0.1%
2.流動資産	1,028,946	14.5%	1,049,868	13.4%	(8)その他	-	-	-	-
(1)現金預金	298,912	4.2%	319,835	4.1%	負債の部合計	101,607	1.4%	746,823	9.6%
(2)未収金	-	-	-	-	(1)固定資産等形成分	6,789,716	95.8%	7,490,605	95.9%
(3)短期貸付金	-	-	-	-	(2)余剰分(不足分)	197,305	2.8%	△426,988	-5.5%
(4)基金	730,034	10.3%	730,034	9.3%	(3)他団体出資等分	-	-	-	-
(5)棚卸資産	-	-	-	-	純資産の部合計	6,987,021	98.6%	7,063,617	90.4%
(6)その他	-	-	-	-	負債及び純資産の部合計	7,088,628	100.0%	7,810,440	100.0%
(7)徴収不能引当金	-	-	-	-					
(8)繰延資産	-	-	-	-					
資産の部合計	7,088,628	100.0%	7,810,440	100.0%					
※資産合計額に対する金融資産の割合					14.79%22.66%				

貸借対照表では、年度末日現在で、どれだけの資産や負債があるのかを把握できます。
左側の「資産」は、保有する資産の内容や額が記載してあります。
右側の「負債」及び「純資産」は、「資産」を形成するためにどのような財源措置をしてきたかを表しています。
「負債」は、今後、負担すべき債務であることから将来世代に対しての負担ととらえることができ、一方で、「純資産」は、今後負担する必要性のない資産、言い換えればこれまでの世代や現在の世代、または国、県が負担した分となります。

行政コスト計算書				
勘定科目	一般会計等		連結会計	
	金額	割合	金額	割合
経常費用	3,412,194	100.0%	3,392,098	100.0%
1.業務費用	3,182,924	93.3%	3,183,395	93.8%
(1)人件費	1,626,449	47.7%	1,626,765	48.0%
(2)物件費等	1,551,350	45.5%	1,551,505	45.7%
内、減価償却費	591,077	17.3%	591,077	17.4%
(3)その他の業務費用	5,125	0.2%	5,125	0.2%
2.移転費用	229,270	6.7%	208,703	6.2%
(1)補助金等	226,719	6.6%	94,607	2.8%
(2)社会保障給付	-	-	-	-
(3)他会計への繰出金	-	-	-	-
(4)その他	2,551	0.1%	114,096	3.4%
経常収益	102,240	3.0%	108,287	3.2%
1.使用料及び手数料	68,031	-	68,031	-
2.その他	34,209	-	40,256	-
純経常行政コスト	3,309,954	-	3,283,811	-
臨時損失	292	-	292	-
臨時利益	1,356	-	1,488	-
純行政コスト	3,308,890	-	3,282,615	-

※表示金額は千円単位となっており、四捨五入のため合計金額に齟齬が生じる場合があります。

行政コスト計算書は、民間企業の損益計算書にあたるもので、行政運営にかかったコストのうち、例えば人的サービスや給付サービスなど、資産形成につながらない行政サービスに要したコストを表したものです。また、実際に現金の支出を伴うサービスのほか、減価償却費や退職手当引当金などの現金支出を伴わないコストまでを含んで表しています。さらに、その行政サービスの提供に対する直接の対価である使用料や手数料といった受益者負担がどの程度あったかを把握することができます。

純資産変動計算書		
勘定科目	一般会計等	連結会計
	金額	金額
前年度末純資産残高	6,952,276	7,009,738
1.純行政コスト	△3,308,890	△3,282,615
2.財源	3,340,809	3,340,809
(1)税収等	3,294,599	3,294,599
(2)国県等補助金	46,210	46,210
本年度差額	31,919	58,194
固定資産の変動(内部変動)	-	-
資産評価差額	-	-
無償所管換等	2,826	2,826
他団体出資等分の増加	-	-
他団体出資等分の減少	-	-
比例連結割合変更に伴う差額	-	△7,141
その他	-	-
本年度純資産変動額	34,745	53,879
本年度末純資産残高	6,987,021	7,063,617

純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産が、1年間でどのような要因で増減したか、を表すもので、本年度末純資産残高は貸借対照表の純資産合計と一致します。

資金収支計算書		
勘定科目	一般会計等	連結会計
	金額	金額
1.業務活動収支	596,810	622,943
業務支出	2,831,787	2,811,702
内、支払利息支出	-	-
業務収入	3,428,598	3,434,645
臨時支出	-	-
臨時収入	-	-
2.投資活動収支	△476,660	△508,320
投資活動支出	492,467	524,127
内、基金積立金支出	73,746	105,406
投資活動収入	15,807	15,807
内、基金取崩収入	-	-
基礎的財政収支	193,897	220,029
3.財務活動収支	-	-
財務活動支出	-	-
財務活動収入	-	-
本年度資金収支額	120,151	114,623
前年度末資金残高	168,686	198,920
比例連結割合変更に伴う差額	-	△3,784
本年度末資金残高	288,837	309,760
前年度末歳計外現金高	3,308	3,308
本年度末歳計外現金増減額	6,767	6,767
本年度末歳計外現金高	10,075	10,075
本年度末現金預金残高	298,912	319,835

資金収支計算書は、単年度の資金の収支を表し、1年間の資金の増減を、業務活動収支・投資活動収支・財務活動収支の3区分に分け、どのような活動に資金が必要であったかを示しています。また、本年度末現金預金残高は、貸借対照表の金融資産の資金の金額と一致します。業務活動収支は、日常の行政サービスを行ううえでの収入と支出を表しています。投資活動収支は、主に固定資産形成に関する収入と支出を言います。財務活動収支とは、地方債等の借入や元金償還に関する支出を言います。